

9月23日は「手話言語の国際デー」です ～ 記念イベントと県内施設のブルーライトアップを実施します！ ～

9月23日は、「手話言語の国際デー」です。手話言語の更なる普及啓発に向け、県では、初めて記念イベントを開催します。また、当日は、県内の各施設において、国際的な手話普及のシンボルとして使用される「ブルーリボン」にちなみ、ブルーライトアップが実施されます。

【「手話言語の国際デー」について】

「手話言語の国際デー」は、2017年12月19日に国連総会で決議されました。決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進するとされています。

【ブルーライトアップについて】

ブルー(青色)は、世界ろう連盟が1951年の設立以来、使用し続けている色で、「ブルーリボン」は、社会における平等と各国の手話言語の認知を何世紀にもわたって求め続けた、ろうコミュニティの取組のシンボルとして使用されてきました。

1 手話言語の国際デー記念イベントの開催について

○日時 令和6年9月22日(日曜日) 午後3時00分～5時30分

○場所 群馬県庁32階 NETSUGEN セミナースペース

○内容

(1) 映画『咲(え)む』上映

ろう者の監督と主要キャストにより製作された映画『咲(え)む』を上映します。一人のろう女性が、移り住んだ村で奮闘し、やがて村全体を変えていく姿を生き生きと描いた作品です。

(2) ブルーライトアップカウントダウン

(1)の映画上映会の後、参加者全員で昭和庁舎のブルーライトアップに合わせたカウントダウンのセレモニーを行います。

(時間 午後5時30分(予定))

○費用 無料

○定員 70名(先着順)

○申込 参加希望者はNETSUGENホームページよりお申し込みください。

<https://www.netsugen.jp/event/e00006315/>

○主催 群馬県、一般社団法人群馬県聴覚障害者連盟



2 群馬県内のブルーライトアップの実施について

群馬県庁昭和庁舎のほか、県内市町村の協力のもと、次のとおり県内 24カ所の施設がブルーにライトアップされます。

なお、ブルーライトアップされた施設の写真を募集する写真コンテストも実施予定です。(詳細は別途公表)



ブルーライトアップ場所一覧(令和6年9月4日時点)

自治体名	ライトアップ場所	期間
群馬県	群馬県庁昭和庁舎	9月22日(日曜日)から 9月23日(月曜日)
前橋市	臨江閣 日本トーターグリーンドーム前橋	9月23日(月曜日)
高崎市	高崎白衣大観音	9月23日(月曜日)
伊勢崎市	旧時報鐘楼 いせさき明治館 伊勢崎市障害者センター	9月21日(土曜日)から 9月29日(日曜日)
太田市	クリーンプラザ	9月22日(日曜日)から 9月24日(火曜日)
館林市	旧上毛モスリン事務所 旧館林二業見番組合事務所	9月23日(月曜日)
渋川市	石段だんだん広場 全日本ろうあ連盟結成の地記念碑	9月23日(月曜日)
	東京電力パワーグリッド(株) 渋川支社 社屋鉄塔 ※ろうあ者体育大会の実施期間に合わせてライトアップ	9月12日(木曜日)から 9月15日(日曜日)
藤岡市	道の駅ららん藤岡 観覧車	9月23日(月曜日)
富岡市	富岡製糸場 ※入場不可	9月22日(日曜日)から 9月24日(火曜日)
安中市	安中市役所本庁舎	9月23日(月曜日)
みどり市	Boat Race 桐生	9月23日(月曜日) 9月28日(土曜日)
榛東村	役場庁舎	9月23日(月曜日)
吉岡町	役場庁舎南側壁面(町章)	9月23日(月曜日)
甘楽町	楽山園	9月17日(火曜日)から 23日(月曜日) ※22日は除く
中之条町	中之条町ふるさと交流センターつむじ	9月23日(月曜日)
草津町	草津温泉 湯畑	9月23日(月曜日)
板倉町・明和町・千代田町・大泉町・邑楽町	【邑楽郡として共同開催】 邑楽町シンボルタワー未来M i r a i展望室	9月23日(月曜日)
大泉町	大泉町保健福祉総合センター内 ※LEDランタン(1基)設置によるブルーライト点灯	9月17日(火曜日)から 9月23日(月曜日)

厚生労働省
推薦

文部科学省選定
(青年・成人・家庭向き)

内閣府
後援

咲心

emu

主演：藤田菜々子

島かおり 赤塚真人 宮下順子 田中康寛 高島良宏
鈴まみ 山中蓮媛 伊是名夏子 佐藤蛾次郎 丘みつ子

脚本・翻訳・監督：早瀬憲太郎 製作：一般財団法人全日本ろうあ連盟

製作総指揮：石野富志三郎 プロデューサー：久松三二 新井英夫

音楽：小林洋平 撮影：猪本雅三(J.S.C) 照明：奥村誠 録音：都弘道 美術：津留啓亮 装飾：平川泰光

編集：山崎梓 スクリプター：吉田久美子 ラインプロデューサー：武田千明 制作担当：富田政男

衣装：宮本まさ江 ヘアメイク：オオクボエミコ スチール：田中敦美 制作プロダクション：株式会社ターゲット

エンディング曲・歌：夏川りみ 題字：金澤翔子

あんたの瞳、まらまらしとる！



後援 手話を広める知事の会/
全国手話言語市区長会

助成 公益社団法人企業メセナ協議会
2021芸術・文化による社会創造ファンド

物事を始める
チャンスを
私は逃さない

全日本
ろうあ連盟
創立70周年
記念映画

咲む emu

題字：金澤翔子

Story [ストーリー]

看護師国家試験に合格したろうの女性の瑞月(みづき)は、就職活動で苦戦。そんな折、ある村の診療所で雇われる話が舞い込み、意気揚々と村にやってきた瑞月。しかし、採用を見送られることになり、落ち込む瑞月に役場から思わぬ仕事の紹介が…。村に住みながら懸命に取り組む瑞月だったが、様々な壁が瑞月を阻んでいく。相手を想っての行動が思わぬすれ違いを生み、そのわだかまりを解くこともできずに苦しんでいる大人たち。瑞月の起こす行動は、そんな大人たちを少しずつ変えていく。そして、村も大きく変わっていく…。



Commentary [コメンタリー]

全日本ろうあ連盟、初の製作映画『ゆずり葉』(2009年)は、上映会場750か所、上映回数1250回、動員40万人を突破し、各界から大きな反響を得た。前作から十年余り、国連障害者権利条約の批准を契機にろう者の言葉である「手話言語」が認知され、各地で手話言語条例が広がり、教育、司法、医療など、各分野で活躍するろう者も増え、ろう者や手話言語について社会の理解が進んでいる。しかし、「きこえない、きこえにくい」ということによる社会の障壁、差別、偏見はなくなったわけではなく、目まぐるしく変わる社会情勢による新たな問題も生まれ、課題は多く残っている。2017年に創立70周年を迎えた連盟は、きこえに関係なく様々な人々が共生していく社会を目指し、再び映画製作に挑戦した。映画『咲む(えむ)』は、一人の若きろうの女性を通して、喜びや葛藤の中で生き、

様々な障壁を乗り越えていく姿から、「ろう者」とは「きこえない」とは何かということ、そして、「手話言語」は魅力的で素晴らしい言葉であること、ろう者独自の文化を市民に広く伝え、ろうの子どもたち、また若いろう者、家族等に幅広く夢を与えていくことをコンセプトに製作した。

脚本・監督は『ゆずり葉』に続き早瀬憲太郎。これまでの経験を活かし、きこえる俳優・スタッフと見事に連携し、新たなエンターテインメントを創りあげた。主人公の瑞月役を、NHK「中学生日記」に出演した藤田菜々子(ろう者)が熱演。彼女を見守る家族に高島良宏、鈴まみのろう俳優。村で瑞月を迎えるのは、島かおり、丘みつ子、佐藤蛾次郎など素晴らしい俳優陣。盲ろう者やほかの障害のある人たちも出演する映画『咲む』は、観る人すべての人を笑顔にする。



藤田 菜々子 島 かおり 赤塚 真人 宮下 順子 田中 康寛 高島 良宏 鈴 まみ 山中 蓮媛 伊是名 夏子 佐藤 蛾次郎 丘 みつ子
脚本・翻訳・監督：早瀬憲太郎 製作総指揮：石野富志三郎 プロデューサー：久松三二 新井英夫 音楽：小林洋平 撮影：猪本雅三(J.S.C) 照明：奥村誠 録音：郡弘道 美術：津留啓亮
装飾：平川泰光 編集：山崎梓 スクリプター：吉田久美子 ラインプロデューサー：武田千明 制作担当：富田政男 衣装：宮本まさ江 ヘアメイク：オオクボエミコ
制作プロダクション：株式会社ターゲット アドバイザー：山本おさむ 中橋真紀人 手話言語監修：高塚稔 木村晴美 【2020年/115分/日本手話言語/日本語字幕/音声ガイド(UDcast対応)】



映画に関するお問い合わせ >>> 一般財団法人全日本ろうあ連盟
〒162-0801 東京都新宿区山吹町130 SKビル8階 E-mail: movie@jfd.or.jp
TEL:03-3268-8847 FAX:03-3267-3445 URL:https://www.emu-movie.jp

UDcast対応

